

The NEX logo is rendered in a bold, green, sans-serif font. The letter 'X' is stylized with horizontal lines passing through its center, suggesting motion or a path.

NIPPON
EXPRESS

We Find the Way

BUSINESS REPORT

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社

年次報告書 | 2022年1月1日 ▶ 2022年12月31日

The NEX logo is rendered in a bold, green, sans-serif font. The letter 'X' is stylized with horizontal lines passing through its center, suggesting motion or a path.

NIPPON
EXPRESS

We Find the Way

証券コード No.9147

TOP MESSAGE

日本通運グループは、NXへ。

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。NXグループの第1期(2022年1月~12月)の概況につきまして、ご報告申し上げます。

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社
代表取締役社長

齋藤 充



当連結会計年度の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により一部の国や地域で経済活動に制限が課され、米国などの財政・金融経済対策の縮減により、緩やかな景気回復に向かっていった前年の状況から、世界経済にブレーキがかかる形となりました。加えて、2月に発生したロシアによるウクライナへの侵攻により、世界的な原材料、エネルギー、食糧などの大幅な価格上昇と調達への不安が広がり、世界的な景気後退への懸念が高まったことで、先行き不透明な状況の中、総じて厳しい経営環境となりました。

このような経済情勢のなか、物流業界におきましても、荷動きの回復が見られた前年の状況から、国内物流では企業の設備投資に伴う生産用機械、ロックダウンに伴う反動増などの影響があった電気・情報通信機器などの一部を除き、力強さに欠ける動きとなり、個人消費に関しても、インフレなどに伴う消費者物価の上昇やまん延防止等重点措置による外食などの需要低迷により、足踏み状態となったことから、全体的な荷動きは弱含みな状況で推移いたしました。

国際物流では、国際海上輸送においては、欧州主要港でのコンテナ滞留や、中国におけるロックダウンに伴う需給バランスの崩れがあり、国際航空輸送においても、旅客

需要の回復遅れがあるなか、ロシア上空の飛行制限に伴う減便などの影響を受けましたが、海上輸送、航空輸送ともに、前年から続く運賃高騰の状況が継続する形で推移いたしました。その結果、世界的なサプライチェーンの混乱や、それに伴う見直しなどもありましたが、特に国際フォワーディング事業と海外事業は好調に推移いたしました。

NXグループは、このような経済環境のもと、2019年4月にスタートいたしました5年間の経営計画「NXグループ経営計画2023~非連続な成長“Dynamic Growth”~」における4年目となり、足元の経営基盤を強化しながら、2023年最終目標に定めた各種指標の達成と、2037年の創立100周年に向けたありがたい姿として掲げる「グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニー」という長期ビジョン実現に向け、グループ丸となって取り組んでまいりました。

事業の成長戦略

「コア事業の成長戦略」につきましては、営業戦略の中核に「グローバルアカウントマネジメント」を据え、営業体制、組織の更なる強化に取り組んでおります。「お客様の考える価値」を見極め、お客様のニーズにあった商品やサービス

を提供することで、顧客（産業）軸アプローチを強化し、併せて、事業軸、エリア軸の強化に取り組んでいくことで、コア事業の成長に繋げてまいりました。GDPなどの高い品質管理が求められる医薬品産業や、各国で国家事業として産業強化が図られる半導体産業、CASEをはじめとした環境変化のなかでSCM改革を進める自動車メーカーを中心としたモビリティ産業など、今後の拡大や変化が見込まれる産業のサプライチェーン領域に新たな成長を求め、継続的な事業強化を続けてまいりました。7月には更なるグローバル事業の拡大を目指し、それまで日本通運株式会社が所管していたグローバル事業の統括機能をホールディングス会社のグローバル事業本部（GBHQ：Global Business Headquarters）に移管し、グローバル事業に関する統括機能の統合と強化を行いました。

「日本事業の強靱化戦略」につきましては、当社グループ事業の核となる日本国内物流事業の収益性の更なる改善と経営基盤の強化に向け、間接部門人員の再配置を進めるとともに、倉庫オペレーション現場における先端技術の導入や、中核人財の育成、オペレーション改善活動による業務効率化や生産性の向上に努めるとともに、鉄道輸送における専用列車「NXトレイン」の運行やクロスモードセールスの強化も進めてまいりました。また、支店作業会社の再構築による経営基盤強化や、グループ内作業戦力の最大活用による外注費抑制など、徹底したコストコントロールにも努めてまいりました。

長期ビジョン実現のための取組み

「取組みを支える機能の強化」における「広報戦略のイノベーション」では、グローバルでの競争優位を築くためのブランディング戦略の第一歩として、2022年1月より導入したグループブランドシンボル「NX」によるグローバルな浸透と認知度向上を目指したブランディング戦略を推進いたしました。また、「IT戦略のイノベーション」では、グローバルな情報セキュリティ強化やグループ全体最適のコミュニケーション基盤整備などを推進いたしました。

「持続的成長と企業価値向上のためのESG経営の確立」につきましては、純粋持株会社（ホールディングス）体制への移行初年度として、グループ経営体制強化のため、グローバル・グループガバナンス体制の実現とその実効性強化、リスクマネジメントや危機管理の強化に取り組むとともに、NXグループの持続的成長と持続可能な社会への貢献に向け、NXグループとして、様々なサステナビリティの課題に取り組む体制の構築と、サステナビリティ経営の推進を進めてまいりました。特に「気候変動への取り組み」を重要課題（マテリアリティ）の一つとして位置づけ、「気候関連財務情報開示タスクフォース（Task Force on Climate-related Financial Disclosures、TCFD）への賛同を表明するとともに、その提言内容に基づいた気候変動への対応を推進しております。また、長期ビジョンの実現に向け、人財こそが競争力の源泉と考え、「社員が幸せを感じる企業に変革する」ことを掲げており、その一つとしてグループとしてのダイバーシティ推進方針を策定し、「意識改革」「風土改革」「働き方改革」「行動改革」に向けた取組みを進めるとともに、グローバル成長を見据えた人財戦略として、多国籍人財の採用や、法務・会計など高い専門性が求められる領域での経験者採用などを進めてまいりました。

この結果、**第1期連結経営成績につきましては、連結売上高は2兆6,197億円、営業利益は1,287億円、経常利益は1,373億円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,098億円**となりました。

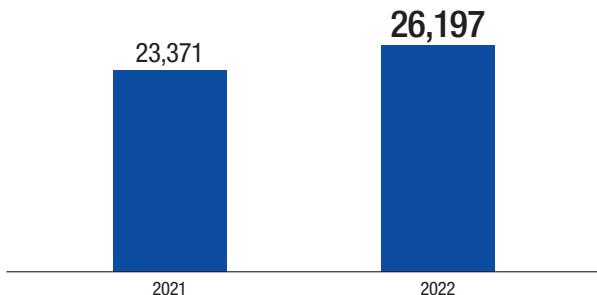
NXグループは、長期ビジョンである「グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニー」の実現に向け、ホールディングス体制での変革を加速させ、更なる成長と、より一層の企業価値向上に努め、株主の皆様のご期待にお応えする所存でございますので、引き続き株主の皆様のご理解とあたたかいご支援をお願い申し上げます。

2023年3月

売上高

2兆6,197億円

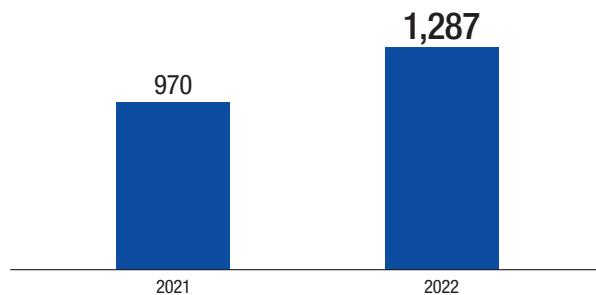
(単位:億円)



営業利益

1,287億円

(単位:億円)



売上高

14,572億円

営業利益

658億円

売上高

1,620億円

営業利益

133億円

売上高

2,156億円

営業利益

124億円

売上高

2,420億円

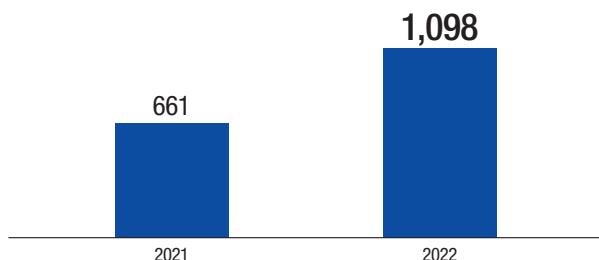
営業利益

124億円

親会社株主に帰属する当期純利益

1,098億円

(単位:億円)



期末配当金

150.0円

■ 中間 ■ 期末
(単位:円)



南アジア・オセアニア (ロジスティクス)



売上高

2,218億円

営業利益

200億円

警備輸送



売上高

684億円

営業利益

9億円

重量品建設



売上高

445億円

営業利益

63億円

物流サポート



売上高

4,148億円

営業利益

163億円

NXグループ経営計画2023 ～非連続な成長“Dynamic Growth”～

NXグループは、5年間の経営計画である「NXグループ経営計画2023～非連続な成長“Dynamic Growth”～」の達成に向けて、「事業の成長戦略」「長期ビジョン実現のための取組み」に掲げる施策にNXグループ一丸となって取り組んでまいります。



事業の成長戦略

「コア事業の成長戦略」につきましては、グローバルアカウントマネジメントによる「顧客(産業)軸」における重点5産業や、非日系顧客への取組みを加速させるとともに、「事業軸」における、航空および海運事業基盤やロジスティクス事業の強化を通じて、お客様のグローバルサプライチェーンへの貢献領域の拡大に努めてまいります。「エリア軸」においては、重点産業の強化を中心として、新興エリアでの事業拡大にも取り組んでまいります。

「日本事業の強靱化戦略」につきましては、当社グループ事業の核となる日本国内物流事業の収益性の更なる改善と経営基盤の強化に向け、警備輸送事業の分社化による事業強化と、管理組織のスリム化や事務プロセスの更なる改革を進めるとともに、関東圏や中京圏、近畿圏などの主要マーケットへの経営リソースの集中と、グループ内でまたがる事業の整理を含めた事業ポートフォリオの見直しなどを進めてまいります。

長期ビジョン実現のための取組み

「取組みを支える機能の強化」につきましては、「IT」「DX」戦略における物流先端技術の実用化やAI、RPAなどの活用を拡大し、労働力不足の解消、安全・安心で高度なオペレーションの実現を通じ、競争優位性の確保と、生産性の向上や働き方改革に繋げていくとともに、デジタルトランスフォーメーションへの対応をグループとしても推進してまいります。

「持続的成長と企業価値向上のためのESG経営の確立」につきましては、サステナビリティを巡る課題に対し、鉄道や船舶輸

送などを組み合わせたインターモーダルサービスなどの開発と提供を通じたお客様への貢献の拡大と、再生エネルギーの活用や、車両などのEV化、施設照明のLED化などを推進し、CO₂排出量の削減を更に進めてまいります。また、社員が幸せを感じる企業への変革を目指し、従業員エンゲージメント強化のため、更なるダイバーシティ経営を推進し、ガバナンス強化については、更なるグローバル・グループガバナンス体制の強化に向け、様々な施策を推進してまいります。

2023年12月期 通期予想

(単位：億円、%)

項目	通期予想 (2023年1～12月)	前年実績 (2022年1～12月)	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)	2023年 経営計画目標	増減額 (計画比)	増減率 (計画比)
売上高	24,500	26,197	△1,697	△6.5	24,000	500	2.1
営業利益	1,100	1,287	△187	△14.5	1,100	-	-
営業利益率	4.5	4.9	-	-	4.6	-	-
経常利益	1,140	1,373	△233	△17.0	-	-	-
親会社株主に帰属 する当期純利益	750	1,098	△348	△31.7	720	30	4.2
海外売上高	7,027	8,416	△1,389	△16.5	7,200	△173	△2.4

※2023年12月期の業績予想につきましては、日本基準に基づいて作成しております。

(億円未満切捨て)

セグメント別予想(1月～12月)

(単位：億円、%)

セグメント	項目	通期予想 (2023年1～12月)	前年実績 (2022年1～12月)	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)	2023年 経営計画目標	増減額 (計画比)	増減率 (計画比)
日本	売上高	14,054	14,572	△518	△3.6	13,730	324	2.4
	セグメント利益	620	658	△38	△5.8	658	△38	△5.8
米州	売上高	1,581	1,620	△39	△2.5	1,210	371	30.7
	セグメント利益	113	133	△20	△15.0	72	41	56.9
欧州	売上高	1,813	2,156	△343	△15.9	1,860	△47	△2.5
	セグメント利益	90	124	△34	△27.6	87	3	3.4
東アジア	売上高	2,031	2,420	△389	△16.1	2,310	△279	△12.1
	セグメント利益	89	124	△35	△28.4	89	-	-
南アジア・ オセアニア	売上高	1,602	2,218	△616	△27.8	1,820	△218	△12.0
	セグメント利益	104	200	△96	△48.1	142	△38	△26.8
警備輸送	売上高	690	684	5	0.8	690	-	-
	セグメント利益	24	9	14	142.2	11	13	118.2
重量品建設	売上高	470	445	24	5.5	530	△60	△11.3
	セグメント利益	56	63	△7	△11.1	61	△5	△8.2
物流サポート	売上高	4,222	4,148	73	1.8	3,820	402	10.5
	セグメント利益	146	163	△17	△10.6	120	26	21.7

※2023年12月期の業績予想につきましては、日本基準に基づいて作成しております。

(億円未満切捨て)

グローバル事業の統括機能を集約・強化する、GBHQの稼働開始



NXグループは、長期ビジョン「グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニー」の実現にむけて、2019年4月から「NX グループ経営計画 2023」に取り組んでおります。2022年7月、その取り組みをさらにスピードをあげて力強く推し進め、創立100周年（2037年）の目標である売上高約4兆円、海外売上高比率50%を早期に実現するため、組織改正を実施し、グローバル事業の強化を図ることといたしました。

ホールディングス会社のグローバル事業本部/ Global Business Headquarters (GBHQ) は、NXグループのグローバルロジスティクス事業を統括し、経営計画で掲げる「コア事業の成長戦略」の完遂にむけてグループを牽引するとともに、グローバル市場に向き合い、スピード感を持って必要とされる機能や経営資源を整備し、ロジスティクスの機能を強化することで、複雑に変化するお客様のサプライチェーンを最適化するためのソリューションを提供してまいります。

NXグループは、真のグローバルロジスティクス企業を目指し、引き続きグループの全体最適とグローバル市場における競争力の向上を図り、グループの価値最大化に取り組んでまいります。



新たなグローバル事業本部体制

NXHDグローバル事業本部に日本通運が所管していたグローバル事業に関する機能を移管・統合し、新たに右記の6つの機能を持つ組織を設置します。これらの組織が中核となって、日本、米州、欧州、東アジア、南アジア・オセアニアの5つのリージョンのグローバル事業を統括・けん引し、競争力向上に取り組んでいくとともに、グループの全体最適を図っていきます。

今後は、組織マネジメント、人財の活用についても、グローバル事業の拡大に見合うものに進化させていきます。

GBHQの新たな6つの機能

マーケティング

営業戦略

ロジスティクス
ソリューション

航空
フォワーディング

海運
フォワーディング

事業戦略

NXアメリカ、アラバマ州ハンツビル市に 新倉庫を開設し、稼働開始



NXアメリカ株式会社は、アラバマ州ハンツビル市に「ハンツビルロジスティクスセンター2」を開設し、2022年7月より稼働開始いたしました。北米における自動車生産の多くが、米国中西部に集積していますが、近年、メキシコへのセットメーカーの進出や工場の拡張、大規模増産などによる生産台数の伸長が著しく、地理的に近隣であるアラバマ州を含む米国南東部においても自動車の生産台数が拡大しています。新倉庫は、主に日本やメキシコから届いた自動車部品を仕分けし、サプライヤー30社以上に対して供給を行います。また、部材メーカーや商社などのお客様の商品を保管し、自動車メーカー、およびサプライヤーへの供給も予定しています。

NXグループは、新倉庫の設立により米国での更なる物流サービスの拡充を図り、経営計画において重点産業と位置付ける自動車産業の取り組みを強化してまいります。



NX欧州、モロッコ王国に 新たに2つの現地法人を設立



NX欧州有限会社は、モロッコ王国内の既存拠点であるモロッコ支店およびタンジェMedロジスティクスセンターをそれぞれ現地法人化し、2022年7月にNXモロッコ有限会社、8月にNXモロッコフリーゾーン有限会社を新たに設立しました。設立を記念して9月にモロッコ北部のタンジェ市で開所式を開催しました。NX欧州は、更なる事業拡大および拡大市場であるモロッコ王国におけるお客様のビジネスを支える事業基盤を強化するため、既存の2拠点を法人化しました。これまでに蓄積した営業面およびオペレーション面のノウハウを活かして、NXグループの経営計画において重点産業と位置付ける自動車産業への取り組みを加速してまいります。

NXグループは、グローバルネットワークと蓄積された高度なロジスティクスのノウハウにより、今後も成長が見込まれる同国

およびアフリカ地域におけるロジスティクス機能を更に拡充し、アフリカ市場へ積極的に進出していくとともに、お客様の事業活動の発展に貢献してまいります。



サステナビリティ方針およびビジョンを策定



NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社は、NXグループのサステナビリティ経営をより一層推進するため、サステナビリティ方針およびビジョンを策定しました。長い年月をかけて、事業を通じて新たな価値を創り、世界中でお客様のビジネスとサプライチェーンを支えてきたことはNXグループの誇りであり、未来に引き継ぐべきと捉えています。

NXグループは、これまで進めてきたサステナビリティ経営をより深化させ、実効性のあるものにする事でサステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

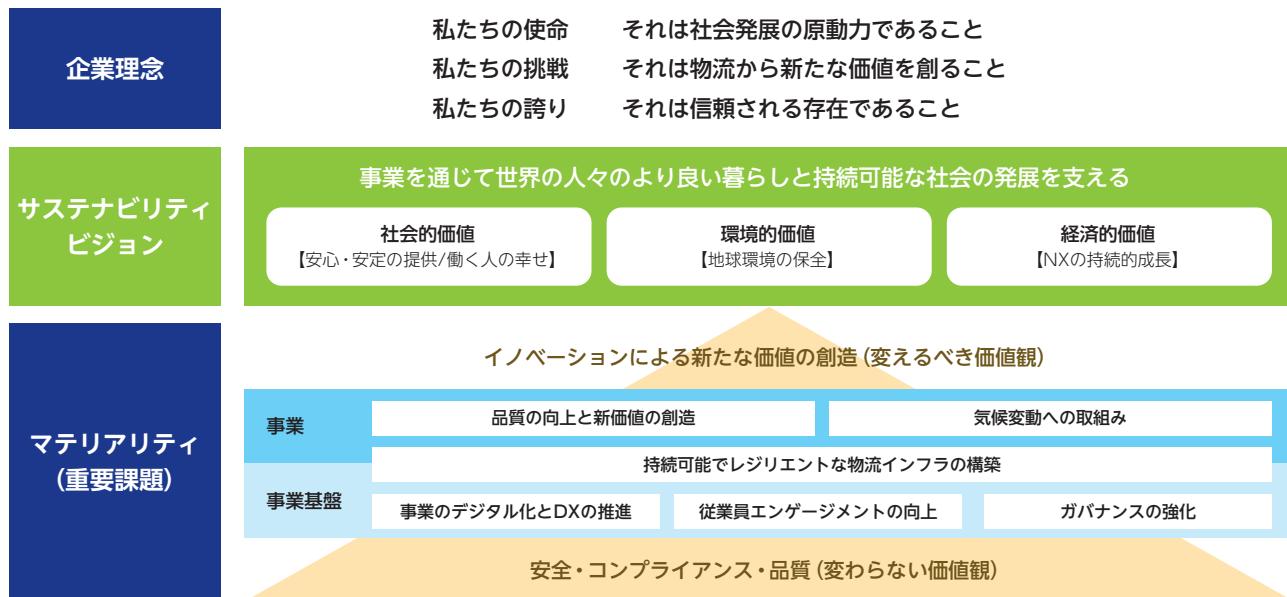
サステナビリティ方針

NXグループは、従業員、ビジネスパートナー、お客様、地域社会といったステークホルダーと共創し、実り豊かな未来を目指すことで、持続可能な社会の実現を目指していきます。

NXグループは、自社とお客様の環境負荷の低減に貢献する事業に取り組むことで、カーボンニュートラル社会の実現や、地球環境の保全に貢献していきます。

NXグループは、人と人、ビジネスとビジネスをグローバルに繋ぎ、社会課題の解決に寄与するソリューションを提供することで、社会から必要とされる存在として、持続的な成長を追求していきます。

サステナビリティビジョン



CO₂排出量削減に関する中長期目標を設定



NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社は、世界的な平均気温上昇を産業革命以前と比較し1.5℃に抑えるという世界的な目標の実現に貢献するため、CO₂排出量削減に関するNXグループの中長期目標を設定しました。

NXグループは、これからも長期的視野に立ったサステナビリティ経営を実践し、事業を通じて気候変動対策に取り組むことで、人々のより良い暮らしと持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

中長期目標

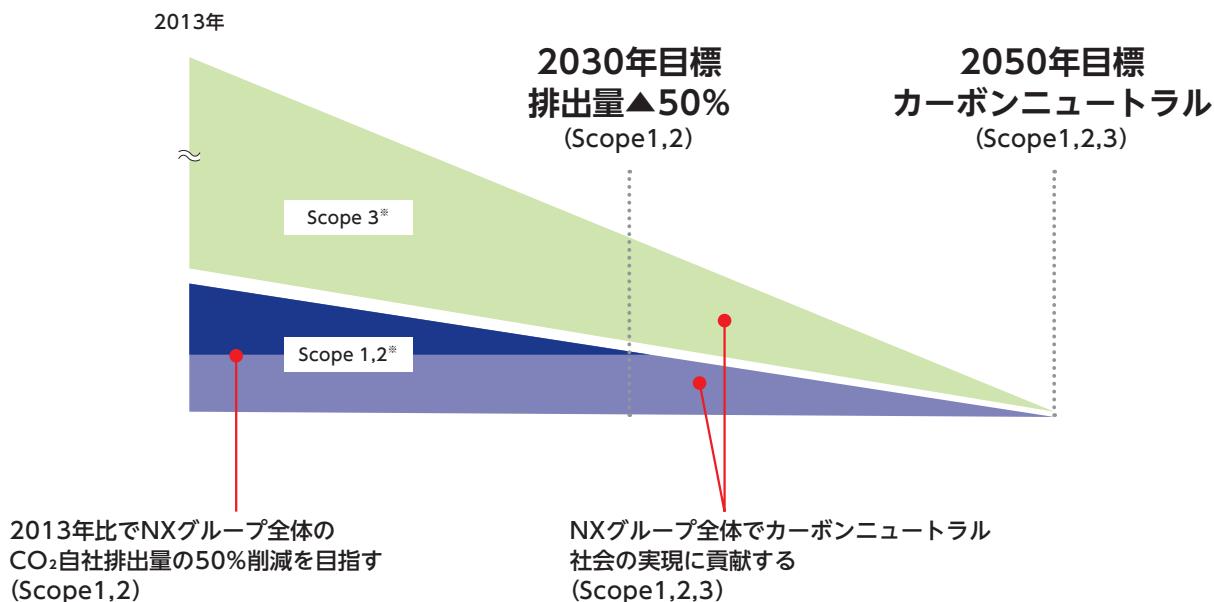
2030年目標

2013年比でNXグループ全体のCO₂自社排出量の50%削減を目指す (SCOPE1,2)

2050年目標

NXグループ全体でカーボンニュートラル社会の実現に貢献する (SCOPE1,2,3)

NXグループのCO₂排出量 (イメージ)



※Scope1,2: 自社排出量 (Scope1: 自社直接排出量、Scope2: 自社間接排出量) Scope3: 自社以外の間接排出量

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社役員(2023年3月30日現在)

取締役

代表取締役会長



渡邊 健二
取締役会議長

代表取締役社長 社長執行役員



齋藤 充
最高経営責任者

取締役 執行役員



赤石 衛
経営企画部担当兼
経営企画部長

取締役



安岡 定子



柴 洋二郎



伊藤 ゆみ子

(注)安岡 定子、柴 洋二郎および伊藤 ゆみ子の各氏は、社外取締役であります。

監査役

常勤監査役



有馬 重樹



溝田 浩司

監査役



野尻 俊明



青木 良夫



讃井 暢子

(注)野尻 俊明、青木 良夫および讃井 暢子の各氏は、社外監査役であります。

執行役員

副社長執行役員

堀切 智
近藤 晃

専務執行役員

長嶋 敦

常務執行役員

竹添 進二郎 大槻 秀史
田中 博之 阿部 俊哉

執行役員

赤間 立也 大辻 智 坂本 健
松尾 純利 海野 昭良 松本 淳
柿山 慎一 國谷 武史 福島 和彦

会社概要 (2022年12月31日現在)

会社名	NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社
本社	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町2番地 https://www.nipponexpress-holdings.com/
設立	2022年1月4日
資本金	701億75百万円
事業内容	貨物自動車運送事業等を営むグループ会社の経営管理およびそれに附帯する業務

株式の状況 (2022年12月31日現在)

株式数	発行可能株式総数	340,000,000株
	発行済株式の総数	90,599,225株
株主数		50,257名

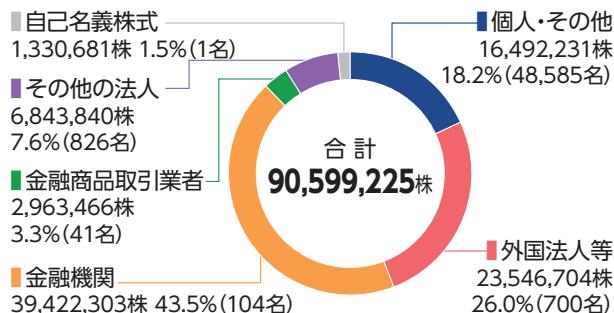
大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	14,890	16.7
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	6,652	7.5
朝日生命保険相互会社	5,601	6.3
NX持株会	3,950	4.4
損害保険ジャパン株式会社	3,567	4.0

※持株比率は、自己株式1,330千株を控除して計算しております。

所有者別株式の分布状況

〈株式数および比率〉



単元未満株式買取・買増請求制度のご案内

買取請求

100株未満の株式を、当社に対して市場価格で売却できる制度です。

(例) 60株を保有の場合、市場では売却できませんが、市場価格で当社が買い取りいたします。



買増請求

100株(単元株式)に不足する数の株式を、当社から市場価格で買い増し、単元株にすることができる制度です。

(例) 60株を保有の場合、40株を買い増して、100株とすることができます。



各種手続きのお申し出先

- ①証券会社口座にある株式 ▶ お取引先の証券会社
 ②特別口座にある株式 ▶ 三菱UFJ信託銀行
 (※下記までお問い合わせください。)

東京都府中市日鋼町1-1
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 ☎ 0120-232-711
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株式の諸手続きについては当社ホームページでもご案内しております。

<https://www.nipponexpress-holdings.com/ja/ir/stock-info/procedure/>



NIPPON EXPRESS 株式諸手続き

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から 12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会 12月31日 期末配当金 12月31日 中間配当金 6月30日
単元株式数	100株
上場取引所	東京
証券コード	9147
銘柄略称	NXHD

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 特別口座の口座管理機関
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 ☎ 0120-232-711 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公 告 方 法	電子公告 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都内で発行される日本経済新聞に掲載して行います。 電子公告掲載ホームページアドレス https://www.nipponexpress-holdings.com/

CORPORATION

NIPPON EXPRESSホールディングスの最新ニュースやIR情報などを発信しています。

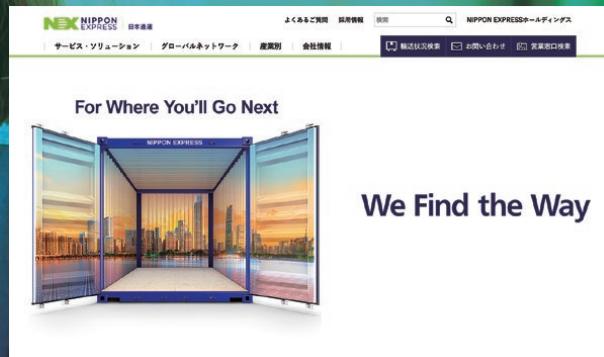
<https://www.nipponexpress-holdings.com/>



CORPORATION

日本通運の事業内容やサービス紹介、最新ニュースなどを発信しています。

<https://www.nittsu.co.jp/>



SPORTS

部活動を通して、さまざまなスポーツの普及、振興、国際化に努めております。

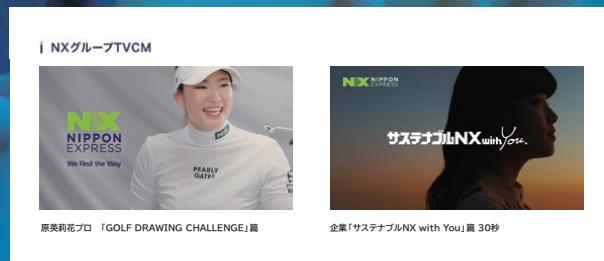
<https://www.nittsu.co.jp/sports/>



TVCM

放映中のTVCMやTV番組を通じて、当社が展開しているさまざまな取組みを多くの方々にお伝えしています。

<https://www.nipponexpress-holdings.com/ja/about/video/>



LinkedIn公式アカウント
LinkedIn

海外のNXグループで手掛ける事業内容を中心に、さまざまな情報を世界のビジネスユーザーに向けて発信しています。

<https://www.linkedin.com/company/nippon-express-group/>



Youtube公式チャンネル

TVCMや企業活動、歴史など当社にまつわる情報を映像でご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/channel/UCatNmOs5hJzVWMfQeUnaQ>



NXグループ 企業理念

私たちの使命

それは社会発展の原動力であること

私たちの挑戦

それは物流から新たな価値を創ること

私たちの誇り

それは信頼される存在であること

私たちNXグループは、創業以来、ものを運ぶことを通して、人、企業、地域を結び、社会の発展を支えてきました。

この変わらぬ使命を果たすため、社会の変化をとらえ、自らを進化させ続けます。

安全に徹し、環境に配慮し、世界を舞台にすべての力を結集して、物流から新たな価値を創造することに挑戦していきます。

いつの時代にも、社会から求められ、信頼されることを誇りに行動します。

すべては、物流を通して社会に貢献し、豊かな未来を創る、NXグループであるために。

